



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学附属図書館報

ISSN 1348-5458

やまなし

2015.10.1

vol.13

no. **1**

contents

- 2 進化し続ける大学図書館
- 4 図書館利用者の声
- 5 学生にすすめる本
- 6 図書館統計
- 7 図書館トピックス

附属図書館特別企画

- 「アーリー・イン・梨大Library」を開催
- 「若手研究者のための論文投稿+文献管理セミナー」を開催

[本館]

[医学分館]

今後のイベント紹介

- 8 ●「生と死のコーナー」関連行事 講演会

[医学分館]

(ほか)

The Yamanashi
Bulletin of the University of Yamanashi Library

lib.yamanashi.ac.jp

進化し続ける大学図書館



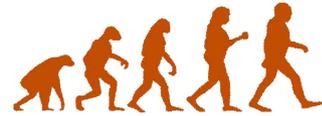
タケウチ サトシ
山梨大学附属図書館長 竹内 智

国立大学法人となってから全国の附属図書館の多くがリニューアルされてきました。その理由は、情報化社会が急速に進展する中で、これまでの大学図書館とは違う役割やサービスが求められてきたからです。時代とともに進化し続ける大学図書館の現状と将来を展望してみましよう。

山梨大学の附属図書館は1950年に設立され、2回の増築を経て現在に至っています。65年間の長きにわたって、知識を深めるための資料収集や情報提供と人類の叡智ともいえる膨大な書籍の管理に携わり、それを未来に引き継いでゆく役割を担ってきました。現在の蔵書は46万冊を超えており、図書館が「知の拠点」としての役割を担ってきたことを示しています。

本学の図書館は、昨年4月にリニューアルオープンしました。旧図書館をご存知の方は館内の変貌に驚かれたことと思いますが、かく言う私もその一人です。図書館のゲートを通過すると、ラーニングコモンズと呼ばれる広い空間が目に入ってきます。このエリアには利用人数に合わせて自由に組み替えできる可動式の椅子や机、ホワイトボードやプロジェクターなどを配置し、ミーティングやプレゼンテーションを行うスペースが提供されています。ネットワークやSNS、印刷物（書籍、雑誌、資料）など多様な情報資源を活用して、学生自身による相互コミュニケーションと協働学習のための「共有空間（コモンズ）」を創り出すことが可能となっています。

さらに、学生が主体的に学習できる図書館の機能強化も必要とされてきました。2階フロアには、講義における演習・討論や研究室のゼミ等にも活用できるグループ学習スペース（2室）が新設されました。また、静かな環境のもとで学習に集中することのできるサイレント・スペース（1室）も用意されています。このような学習環境の整備によって、本学の先進的な問題発見・解決型の学習として評価されているアクティブ・ラーニングをはじめとして、数物系分野の学習支援となるフィロス、さらには留学生との交流からグローバルセンスを磨くG-フィロスなどの取り組みが行われることになっています。



このような大学図書館における新しいサービスや役割を学生や教員に周知するとともに、教育研究を支援する図書館職員のコミュニケーションや情報スキルを向上させてゆくことが今後の課題となっています。また、主体的な学習システムの維持管理を担う専任教員の導入も必要になると考えています。

本学では、教育理念として掲げられている「諸学融合」*のもとに教育研究が行われています。この理念は、人文社会科学系や自然数理学系、医学看護学系など異なる分野の科学のコラボレーションによって新たな教育や研究が創造されてゆくことを意味しています。ラーニングコモンズはこの理想を実現するための学生・教員・研究者相互の「共有空間」として、今後もさらなる利活用が期待されています。

山梨県立図書館の入館者数は2013年に90万人を超え、都道府県立図書館の中で全国第二位に輝きました（出典：日本図書館協会2014年調査）。新築オープンという話題性を考慮しても、若者の図書離れが止まらない中、多くの人々を図書館に引きつける魅力とは何なのでしょう。地域との連携を進める中で、大学図書館もその魅力を探求してゆく必要があると考えています。

IT技術の革新により世界中の人々が情報を発信し共有できるようになりました。その一方で、膨大な情報を的確に取捨選択することも必要不可欠となっています。このような現代社会において、大学図書館は、冷徹なものの見方や多様な価値観を涵養し、心豊かな生き方を考える場として、人生に潤いを与える「知のオアシス」であるともいえます。従来の大学図書館の役割を継承しながら、新しい主体的な学習や教育研究をサポートする場として、進化し続ける大学図書館でありたいと考えています。

*甲府キャンパスY号館1階ロビーに、吉田洋二氏（国立大学法人山梨大学初代学長）による揮毫が掲げられています。



大学図書館の魅力

子供の頃から図書館が好きでした。

小学生の時通った町立図書館は木造で歩くとミシミシと音がして親しみがありました。以来、図書館は学校の図書室も含め、読書や選書で数時間過ごせるお気に入りの場所になりました。

そんな環境に数年前、少しの変化が訪れます。

以前から文献研究に取り組みたいと考えていましたが、文献収集の難しさが課題でした。この問題の解決策は大学図書館の支援を得ることですが、既に中年の域に達している社会人です。大学図書館は魅力でしたが悩み迷っていました。錯綜の中、山梨大学入学のご許可は勇気を与えてくださり、昨春、学業と仕事を続けてみようかと一歩を踏み出しました。

私の文献収集は山梨大学附属図書館OPACに

アクセスし、所蔵先を確認することからはじまります。所蔵先は本館、他大学、国立国会図書館と広範ですが、相互貸借や文献複写等の協力体制が構築されています。利用者サービスから複写や貸借を依頼し、職員の方に対応いただきます。また医学分館所蔵の文献は自分で複写するのですが、特別利用を活用すれば閉館時間帯でも入室できるので助かります。

この方法で今夏、200を超える文献を入手することができました。大学図書館が本の貸借のみならず学生、教職員、研究者らの情報提供機関であることを実感しています。丁寧にご対応いただく司書、職員の皆様への感謝と共に、新たに大学図書館という大切な場所ができたことを嬉しく思います。

こえ

図書館利用者の声

図書館利用の勧め

昨年度の4月に、山梨大学の附属図書館がリニューアルしました。1階の蔵書スペースを利用した大幅な改築は私にとって衝撃的でした。今の図書館と以前の図書館とで大きく異なる点は、その1階のラーニングcommonsだと思えます。

私は図書館といえば読書や自主学習をする施設のイメージがありました。しかし、ラーニングcommonsでは学生同士のグループワークを推奨しています。私が図書館を訪れると、ラーニングcommonsにはいつも大勢の学生がいます。学生達は討論に熱中し、従来の図書館とは違った雰囲気があります。

また、図書館ではプロジェクターやホワイトボードの貸し出しも実施しており、グループワークのしやすい環境となるよう配慮しています。サークル活動で、ホワイトボードを利用するグ

ループもあります。私たちはラーニングcommonsを上手に利用した活動を期待しています。

他にも、ラーニングcommonsの利用者は学生に留まらず、就職活動の説明会場としても利用されています。本来であれば、緊張する就職活動の場も、馴染みのある図書館では緊張が和らぐのではないかと思います。

一方で、図書館全体での蔵書スペースが削減され、図書館全体の蔵書数は減少しました(貸出履歴が全くない本など)。「読みたい本が県立図書館にも附属図書館にも無い。」そんなときはMy Libraryから学生希望図書リクエストを行ってみてください。自分で買うのには躊躇うような、値段が高い専門書にはピッタリの方法だと私は常々思います。

ほん

大学院総合研究部 教育人間科学域 教育学系
サワダ チカコ
澤田 知香子 准教授

ミュリエル・スパークのフィクションはシャープでコンパクト、ウィットに富んでエレガント、（ときにブラックな）笑いに溢れ、（ときにショッキングなほど）意地が悪い。そのスパーク作品の新しい邦訳が立て続けに出版されている。表題作「バン、バン！ はい死んだ」を含む短篇集の帯には「とてもおもしろかった!!」という湊かなえのコメント。短篇の中では姿なき声が語る物語（というのがどういう物語を指すのかは読んでのお楽しみ）や作者のアフリカ生活に取材した物語が出色だ。ただ、しばしば短篇の名手と称されるスパークが本領を発揮するのは小説。『寝ても覚めても夢』は、セレブな映画監督トムと失踪した彼の娘マリーゴールドの「夢」のコラージュ、夢と現実の曖昧な境界で展開

ミュリエル・スパーク

所蔵あり

- ・『バン、バン！ はい死んだ』
— ミュリエル・スパーク傑作短篇集』
本館・2F新着書架 933.7
- ・『寝ても覚めても夢』
本館・2F一般書架 933.7
- ・『プロディ先生の青春』
本館・2F新着書架 933.7

するブラックなドラマ。読み進むうち、情報やイメージを消費してバーチャルな現実を生きる現代人はふと自分自身の世界を見回してしまうかも。そんな現代世界、特にサイバースペースでは誰もがアーティストになれるけれど、凡庸なパフォーマンスや等身大のアイドルに飽きた向きには、実人生という舞台にそびえ立つヒロインのドラマがおすすめだ。『プロディ先生の青春』の舞台は1930年代のスコットランド、エディンバラ。ヒロインは英語圏小説史上（おそらく）最強のカリスマ教師。スパークの出世作で、ブロードウェイ・ミュージカルになり映画化もされたこの作品は、小説がエンターテインメントだということを実感させてくれる。

学生にすすめる本

医学部 放射線医学講座
オオニシ ヒロシ
大西 洋 教授

東日本大震災に併発した福島原発事故は日本中を恐怖と不安に陥れましたが、果たしてどの程度の具体的な根拠をもって恐れたのでしょうか。「放射線と放射能の違い、シーベルトとベクレルの違い、外部被曝と内部被曝の違い・・・」など、理解できていましたか？ 得体の知れない放射線について「よく知らないから怖い」ということはなかったでしょうか。実際に、当時の報道では「○シーベルト」と「毎時○シーベルト」の使い分けについて時の政府の高官も理解できていない様子でした。また、医学生を含めて医療関係者はより放射線について詳しい知識と判断ができなければなりません、どれくらい自信をもってご家族や友人に説明できるでしょうか。ちなみに、「ベクレル・シーベルト」については、欧米では小学校で「メートル・グラム」などと同レベルで教えているそうです！

本書は、放射線や放射能についての素朴な疑問に対して、Q&A（81個）方式と的確な用語解説やまとめにより、基礎から専門的な知識まで織り交ぜながら分かりやすく解説しています。筆者の荒木力先生は本学の放射線

荒木 力

所蔵あり

『放射線被ばくの正しい理解』

医学分館・2F開架図書(第三) WN620/HOU

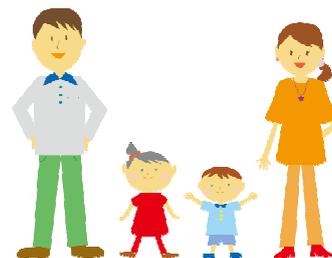
科名誉教授であり、当代随一のカリスマ放射線診断医でありダイナミックCTの先駆者としても著名です。また新しいMRI撮像法の開発も進められていて、その基礎になるMRI理論の解説著書には一流の物理数学者としての側面も垣間見られます。何よりも、あらゆる事象について瞬時に本質的な理解と判断を下せるのが荒木先生の誰にもまねの出来ない天才技であり、本書でも随所に示されています。また、本書の34の「Episode」には荒木先生の深い教養と鋭い判断が生き生きと感じられ、読み物としても大変深く濃い内容になっています。

なお、荒木力先生の画像診断に関する参考書は数十冊ありますが、いずにおいても「本質を捉える目」が光っていますので、現場で使える知識が強烈に頭に残ります。「腹部CT診断120ステップ」「胸部CT診断90ステップ」（いずれも中外医学社）は初学者から専門医まで幅広く活用できますし、今は絶版となってしまった「医学生のためのCT診断演習」（南江堂）はアマゾンなどで中古として購入しても損はない絶品です。

1 図書館利用統計

(1) 開館日数・入館者数

区分	開館日数	入館者数(人)		
		学内者	学外者	合計
本館	255日	118,089	-	118,089
分館	288日	177,926	203	178,129



(2) 館外貸出冊数・参考調査取扱件数

区分	館外貸出冊数(冊)				参考調査 件数
	学生	教職員	学外者	合計	
本館	24,148	2,924	596	27,668	2,032
分館	13,523	2,369	263	16,155	2,913

(3) 相互利用

区分	貸借(単位:冊)		文献複写(単位:件)	
	貸出	借受	受付	依頼
本館	188	278	1,004	886
分館	73	73	1,623	2,232
合計	261	351	2,627	3,118

(4) 子ども図書室

開館日数	111日
入室者数	1,466人
貸出券発行人数	55人
蔵書冊数	4,344冊
貸出冊数	951冊

2 図書館蔵書統計

(1) 図書・雑誌蔵書数 (H27.3.31現在)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	337,271	126,692	463,963	7,359	2,438	9,797
分館	53,272	42,345	95,617	2,257	1,327	3,584
合計	390,543	169,037	559,580	9,616	3,765	13,381

(2) 図書・雑誌受入数 (H26年度)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	3,530	28	3,558	2,193	191	2,384
分館	1,591	47	1,638	517	97	614
合計	5,121	75	5,196	2,710	288	2,998

■ 附属図書館特別企画 「アーリー・イン・梨大Library」を開催



本館では、「アーリー・イン・梨大Library」と題して、7月23日（木）から31日（金）までの土日を除く7日間、通常の開館時間8時45分を早朝の7時としました。前期試験中ということもあり、延べ379名（1日平均54名）の学生が利用し、連日館内1階のラーニングコモンズスペースはほぼ満席となりました。

■ 「若手研究者のための論文投稿+文献管理セミナー」を開催



7月9日（木）、医学部キャンパス看護学教育研究棟情報科学講義室において、エルゼビア・ジャパンの高石雅人氏を講師にお招きして、標記セミナーを附属図書館医学分館主催で開催しました。当日は学内の基礎、臨床、看護、コメディカル、学生等さまざまな分野で研究に携わっている、若手を中心とした研究者65名が受講しました。

今後のイベント紹介

申込必要



「若手研究者のための論文の書き方+文献管理セミナー」のご案内

本館では、エルゼビア・ジャパン株式会社から講師をお招きし、講習会を開催いたします。これから英語論文を読み書きする大学院生や若手研究者、指導教員などを対象にお話していただく予定です。関心のある方は、ぜひご参加ください。

- 日時：10月21日（水）16：30～18：00
- 場所：甲府東キャンパス 情報メディア館2階 第3実習室
- 講師：高石 雅人氏（エルゼビア・ジャパン株式会社ソリューション・コンサルタント）



【お申し込み】お名前と、研究分野および講師に聞きたい質問をメール、電話もしくは直接来館しお知らせください。（当日の飛び入り参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みください。）

【お申し込み・問い合わせ先】

情報サービスグループ TEL：055-220-8066 E-mail：serv@yamanashi.ac.jp

申込不要



山梨大学附属図書館医学分館「生と死のコーナー」関連行事 講演会

- 演題：人をお世話するという生き方
- 講師：池永 昌之先生（淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長）
- 日時：11月13日（金）18:00～19:30 入場無料
- 場所：医学部キャンパス（中央市） 臨床講義棟 大講義室

医学分館では、平成27年度「生と死のコーナー」関連行事として、淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長の池永昌之先生を講師にお招きし、講演会を開催します。

日本のホスピス医療のパイオニアである淀川キリスト教病院での実践を通じた講演を聴くことが出来る貴重な機会となりますので、医療関係者の方、一般の方問わず、関心のある方は是非、ご参加ください。

申込必要

平成27年度山梨県・山梨大学連携事業

「子どもの読書活動推進スキルアップ講座」全5回のご案内

子ども図書室では、山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により、「子どもの読書活動スキルアップ講座」を平成27年度も実施しています。次回の予定は下記のとおりです。講座は、連続して受講することも、各回ごとの参加も可能です。

● 第3回「読書マラソンの取り組みー大学生に向けた読書推進活動ー」

愛知教育大学生生活協同組合職員 小西 真穂 氏 講演

日時：平成26年10月29日（木）午後2時～

場所：山梨県立図書館1階 イベントスペース西



以降の予定

* 第4回 12月3日（木）童話作家しいなさいち氏による講演

* 第5回 2月18日（木）勝沼図書館司書青柳啓子氏による講演とワークショップ

【お申し込み・お問い合わせ】

山梨県立図書館サービス課 子ども読書推進担当

〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1 TEL 055-255-1040（代） FAX 055-255-1042

主催：山梨県立図書館・山梨大学附属図書館子ども図書室

◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

学外の方への利用案内

本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生をはじめ一般の方々も利用できます。詳細については、<http://lib.yamanashi.ac.jp/>をご覧ください。か、本館 Tel:055-220-8066（情報サービスグループ）、医学分館 Tel:055-273-9357（医学情報グループ）にお問い合わせください。



山梨大学附属図書館報

「やまなし」

第13巻第1号

2015年10月1日発行

編集：館報編集委員会

発行：山梨大学附属図書館

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37

TEL 055-220-8063

● 表紙：ミニコンサート風景

場所：本館1Fラーニングコモンズ（図書館職員 撮影）